



Neb:O

ShiftPit

シフトピット

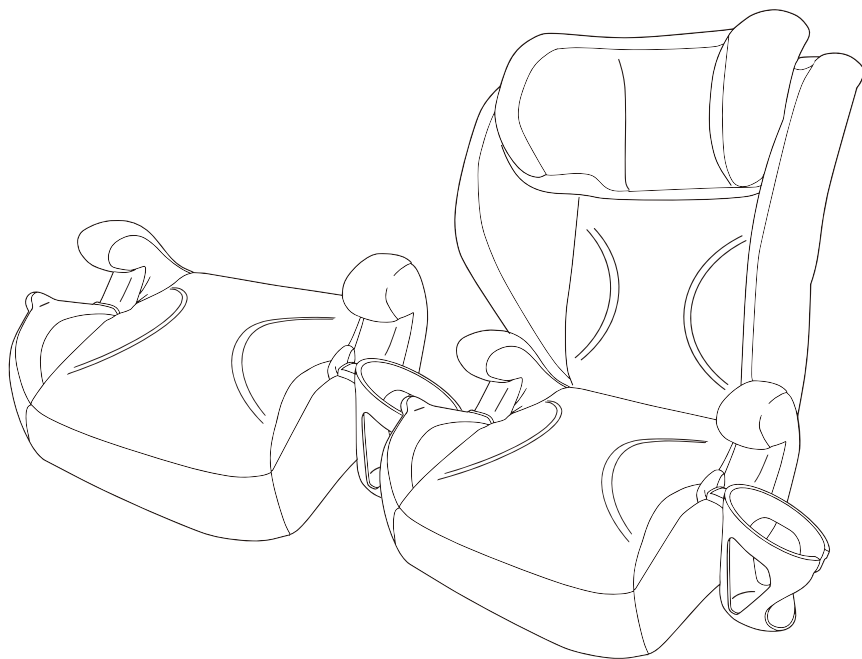
取扱説明書

身長
100~150cm

保証書付き

年齢
3歳半~12歳頃

UN ECE R129/03 適合
i-Size ブースターシート 100-150cm
汎用ブースタークッション 135-150cm



ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート ShiftPit<シフトピット>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- 本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 100 ～ 150cm くらいまで（目安年齢：3 歳半～12 歳くらいまで）のお子さまを対象としたチャイルドシート [i-Size ブースターシート／汎用ブースタークッション] です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

全てのお車に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表は下記 URL（ネビオ公式サイト）から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときには必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『**危険**』、『**警告**』、『**注意**』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
△危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
△警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
△注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ ご使用いただく前に	2
■ 表示について	2
■ 目次	3
■ 安全にご使用いただくために	4
■ 取付けできる座席	6
■ 取付けできない座席	7
■ シートベルトの種類と確認	8
■ 梱包内容	9
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	10
■ 各部の名称	11
■ カップホルダー	
■ 取付け方法	12
■ 取外し方法	12
■ リクライニング	
■ リクライニング方法	13
■ ヘッドレスト	
■ 肩ベルト位置の目安	14
■ 調節方法	14
■ ジュニアシートモードの使用方法(身長 100 ～ 150cm)	
■ 車両への取付方法	15
■ お子さまの乗せかた	17
■ 走行前のチェックリスト	19
■ 背もたれの取外し方法(ジュニアシート→ブースタークッション切替)	
■ 取外し前の準備	20
■ 背もたれの取外し方法	20
■ ブースタークッションモードの使用方法(身長 135cm 以上)	
■ 車両への取付方法	21
■ お子さまの乗せかた	22
■ 走行前のチェックリスト	23
■ 背もたれの取付け方法(ブースタークッション→ジュニアシート切替)	
■ 背もたれの取付け方法	24
■ シートカバーの取外し方法	
■ カバーの取外し前の準備	25
■ ヘッドレスト・背もたれカバーの取外し方法	26
■ ブースターシートカバーの取外し方法	28
■ シートカバーの取付け方法	29
■ お手入れ	
■ シートカバーの洗濯方法	29
■ 本体のお手入れ方法	29
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	30
■ 材質	30
■ 保管方法	30
■ 廃棄方法	30
■ 保証書	31

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。
衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- 車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- **ジュニアシートモードでご使用の場合**、車両シートベルトが肩ベルトガイド・腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを必ず確認してください。
- **ブースタークッションモードでご使用の場合**、車両シートベルトが腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを必ず確認してください。
- 車両シートベルトのバックルが差し込まれていない状態で使用しないでください。
衝突時、性能が十分に発揮できず大変危険です。
- 車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- 車に取付ける際は必ず車両シートベルトで取付けてください。
- 必ず肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。



緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し車外に脱出させてください。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席には取付けないでください。
- 2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- 肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- 車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- **ジュニアシートモードでご使用の場合**、お子さまの耳の上端が、チャイルドシートの上端より上になる場合は、使用しないでください。
- **ブースタークッションモードでご使用の場合**、お子さまの耳の上端が、車両背もたれの上端もしくはヘッドレストの上端より上になる場合は、使用しないでください。

- 本製品のネジやナットなどを取外して、分解や改造を行わないでください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- 短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- 極端な厚着や防寒具などの上から、車両シートベルトを装着しないでください。
シートベルトがゆるむ原因となります。
寒い場合は、シートベルトを装着した上から対策を行ってください。
- 梱包用の袋などは、お子さまがかぶらないよう放置しないでください。
- 同時に2人以上で使用しないでください。



注意

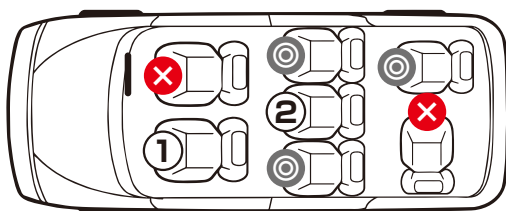
次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やカップホルダーが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。
本書に記載されていない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

- 本製品の取付け方：前向き（進行方向）

本製品は i-size プースターシート／汎用ブースタークッションに分類されており、以下の座席位置に取付け可能です。



◎ 正しい設置位置

✕ 誤った設置位置

① エアバッグが装備されていなければ設置可能

② 3点式シートベルトを装備している場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 （前向き）	前座席：エアバッグを装備していない車	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している車	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可



危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- 3点式手動調節シートベルト
- 3点式巻取り装置付きシートベルト



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。



警告

3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。

本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



ポイント

車種適合表は下記 URL (ネビオ公式サイト) から確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート。

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



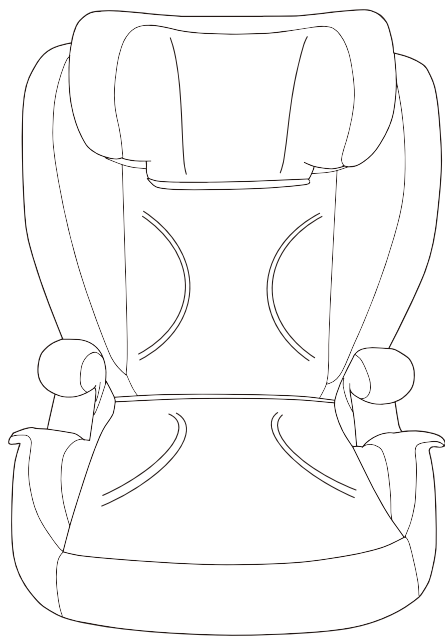
ポイント

車種適合表は下記 URL (ネビオ公式サイト) から確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

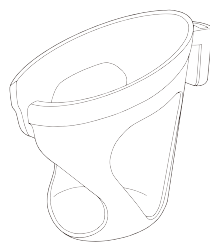
シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR / ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

梱包内容

生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、
傾けるとカラカラと音がある場合がありますが、
使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。



本体

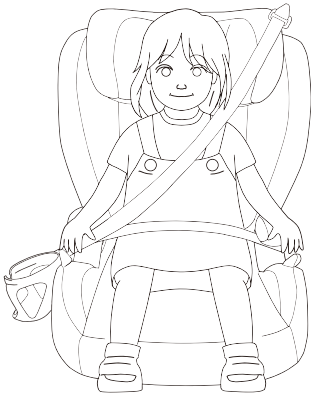
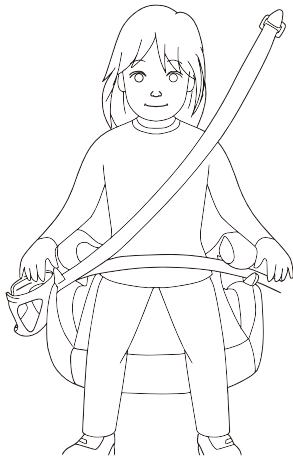


ドリンクホルダー

お子さまの身長に合わせた使用方法

※本製品は子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R129/03 に合格

モード	ジュニアシートモード	ブースタークッションモード
使用の条件	身長：100～150cm	身長：135～150cm ※身長 135cm 未満のお子さまは 使用できません。
使用の状態		
取付け方法	車両シートベルト	



警告

身長 135cm 未満のお子さまは必ずジュニアシートモードで使用してください。



警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。

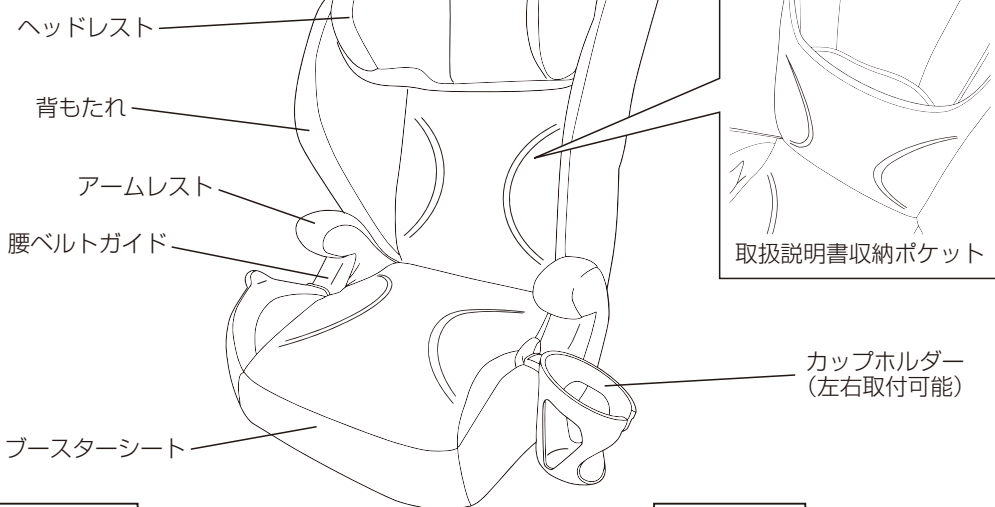


注意

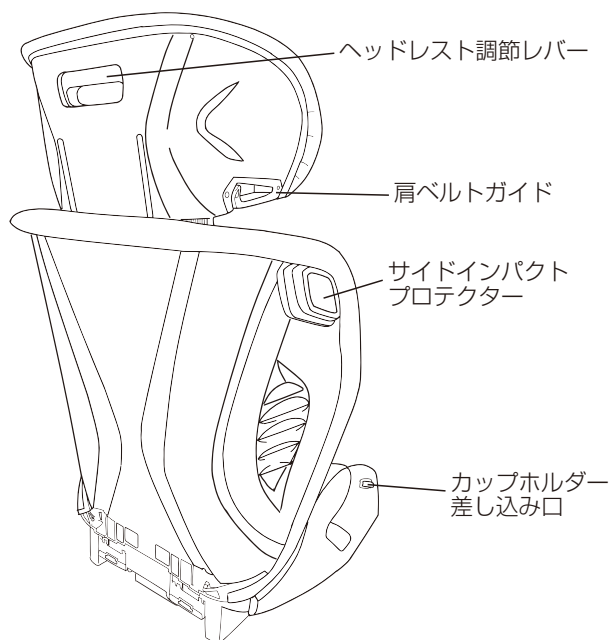
取外した背もたれは車内に放置しないでください。
※車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の名称

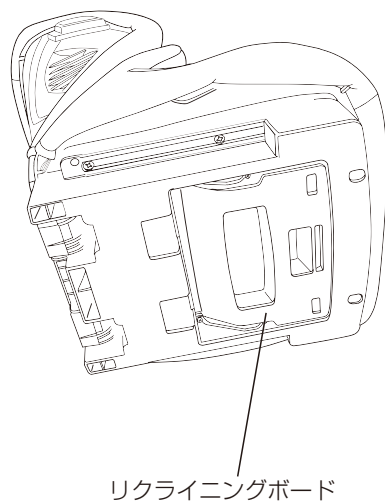
前面



背面



底面



カップホルダー

カップホルダーは左右どちらにも取付け可能です。

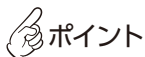
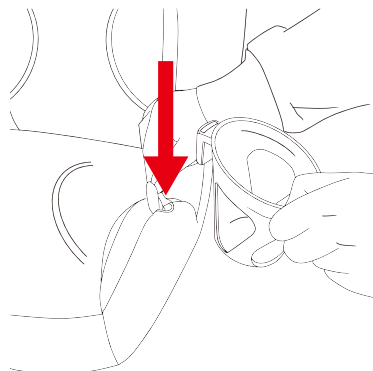


注意

カップホルダーを付けた状態で上から過度に力を加えないでください。
カップホルダーと差し込み口が破損するおそれがあります。

取付け方法

カップホルダー差し込み口に、カップホルダーを上から差し込んでください。

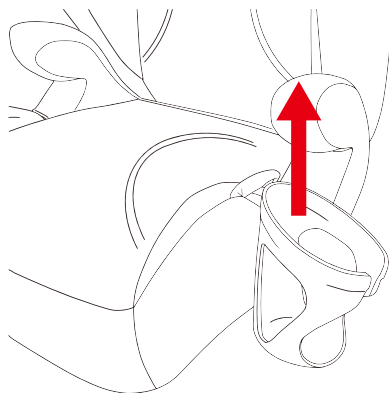


ポイント

外れないよう奥までしっかり差し込んでください。
※カバーが挟まっていないか確認してください

取外し方法

チャイルドシートを上から押さえ、カップホルダーを上から引き上げて取外してください。



注意

取外す際は、必ず上方向に引き上げてください。

※それ以外の方向に力を加えると、カップホルダーや差し込み口が破損するおそれがあります。

●500ml以上の飲み物はいれないでください。

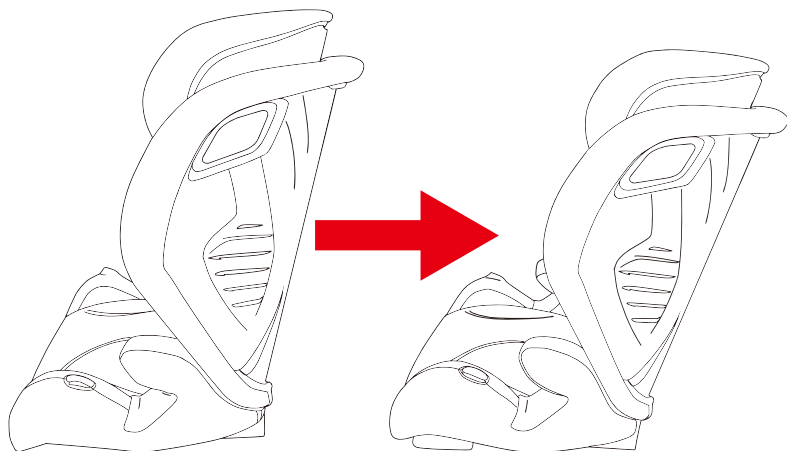
●お子さまがカップホルダーに体重をかけないようにしてください。

●カップホルダー内の飲み物が安定していることを確認し、使用してください。

●カップホルダーに保冷・保温効果はありません。

飲み物をカップホルダーに入れた状態で車内に放置した場合、飲み物が熱くなる可能性があります。

リクライニング



リクライニング方法



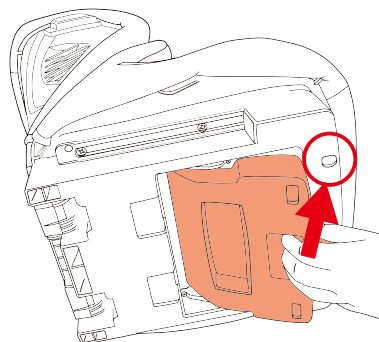
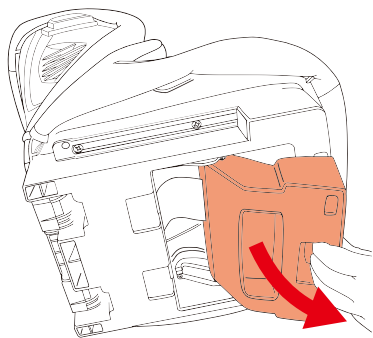
▶ 動画で解説
リクライニング
方法

- ① ブースターシート裏面のリクライニングボードを引き出して下さい。 ② 前側にある穴にはめ込んでください。



注意

完全に固定されている事を確認してください。



注意

リクライニングボード操作後は必ず固定されている事を確認してください。

ヘッドレスト

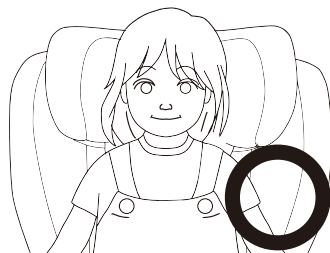
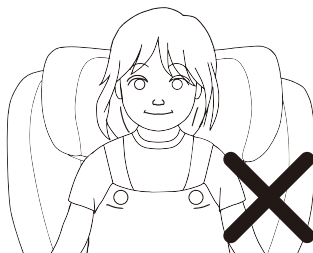
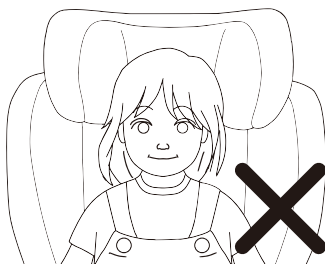
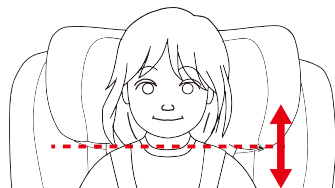
ヘッドレストの位置は8段階で調節可能です。
お子さまの肩の高さにあわせて調節してください。



動画で解説
ヘッドレストの
調節方法

ヘッドレストの高さの目安

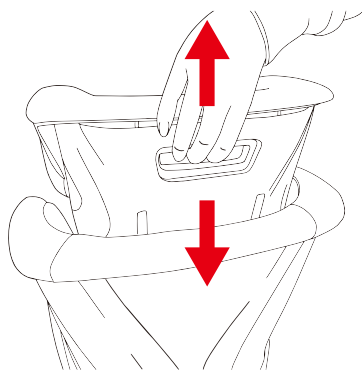
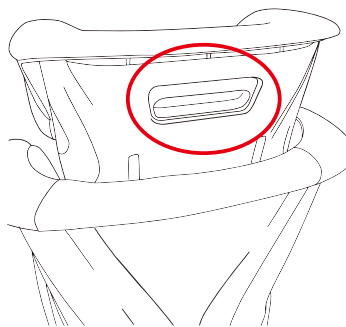
ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安は肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ高さになります。



調節方法

① 本体上部にあるヘッドレスト調節レバー（赤丸部分）を持ち上げながら、ヘッドレストを上下に動かし正しい位置に調節してください。

② 適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。



③ ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



注意

ヘッドレストを調節する際は、手や指などをはさまないように注意してください。

ジュニアシートモードの使用方法(身長100～150cm)



動画で解説
ジュニアシート
モード

使用条件

- お子さまの身長が 100 ～ 150cm くらいまでであること。
※ 3 歳半～12 歳くらいまで

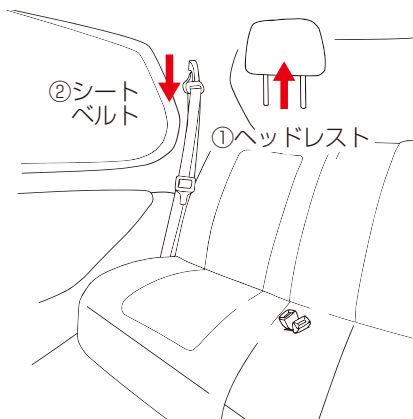


警告

- 本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※ お子さまを乗せた状態で、お車に取付けないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- お子さまが座っていない場合でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
※ 車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

車両への取付方法

- ① 車両のヘッドレストが取外せる場合は取外してください。
※ 取外せない場合は、車両側のヘッドレストを一番高い位置まで上げてください。
- ② 車両のシートベルト取出口の高さが調節出来る場合は、最下段に下げてください。



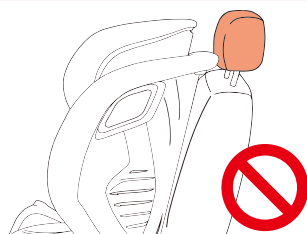
注意

取外したヘッドレストは車内に放置せず、トランクルーム等で保管してください。
※ 車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



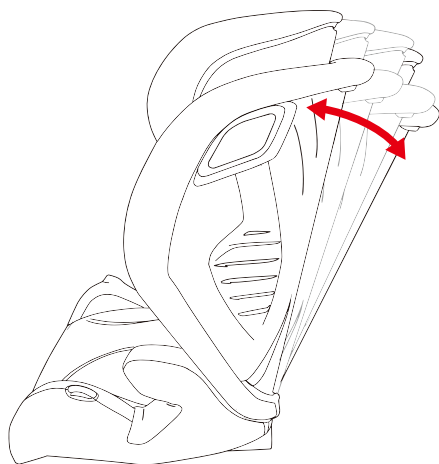
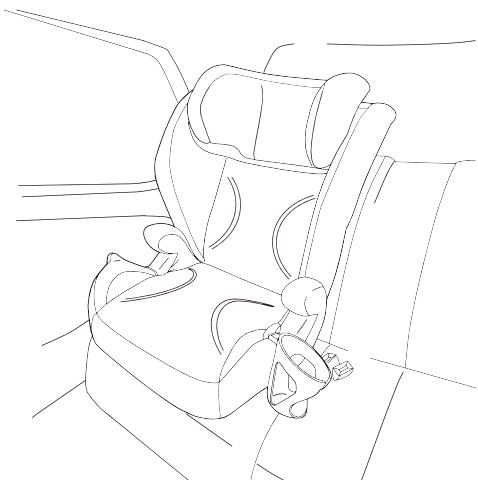
警告

車両側のヘッドレストが本製品に干渉した状態で取付けないでください。
※ 本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。



③チャイルドシートを前向きで乗せた後、チャイルドシートの前部が車両の座席からはみ出していないことを確認してください。

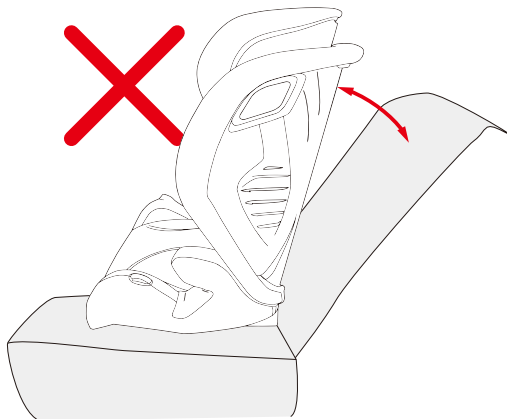
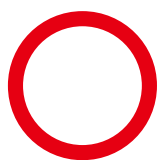
④チャイルドシートの背もたれ角度を車両の座席に合うよう調節してください。
リクライニングが可能な座席へ取付ける場合は、チャイルドシートの背もたれ角度にあわせて車両側のリクライニングを調節してください。



危険

車両側の座席背もたれがリクライニング出来る場合は、起こした状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、衝突時などにお子さまの体が車両のシートベルトからすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり大変危険です。

⑤チャイルドシートの背もたれと車両シートの背もたれの間にすき間がなくなるように車両シートのリクライニングを調節してください。



警告

車両シートの背もたれを倒した状態で使用しないでください。車両シートを倒した状態で使用した場合、衝突時にチャイルドシート本来の性能が十分に発揮できません。

お子さまの乗せかた

①お子さまを深く座らせてください。

⚠警告

お子さまの耳の上端が、チャイルドシートの上端より上になる場合は、使用できません。

⚠注意

お子さまの背中とお尻が本製品の背もたれに密着するよう深く座らせてください。

②ヘッドレストをお子さまの肩の高さにあわせて調節してください。

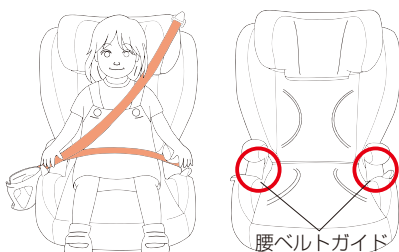
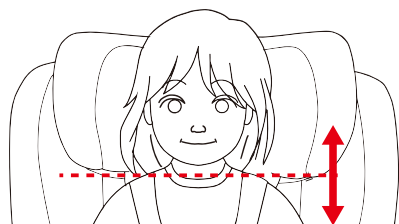
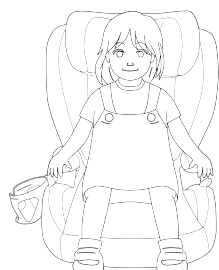
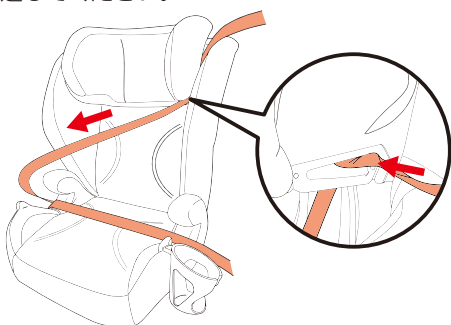
⚠注意

ヘッドレストは肩ベルトガイドがお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。

③車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通して車両バックルに差し込んでください。

※お子さまの骨盤の低い位置を通してよう、車両シートベルト(腰ベルト)を調節してください。

④車両シートベルト(肩ベルト)を肩ベルトガイドに通してください。

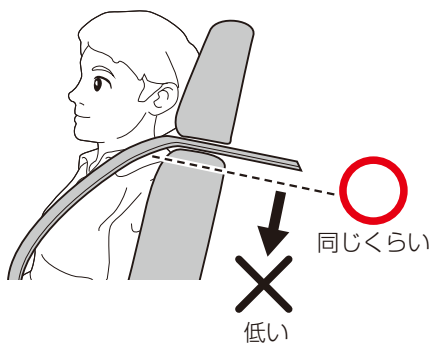


⚠警告

車両シートベルト(肩ベルト)は必ず、肩ベルトガイドの中に通してください。



⑤ヘッドレストの高さ調節で車両シートベルト（肩ベルト）がお子さまの肩と同じ位の高さになるよう調節してください。



危険

- 車両シートベルト（肩ベルト）がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ位の高さにしてください。



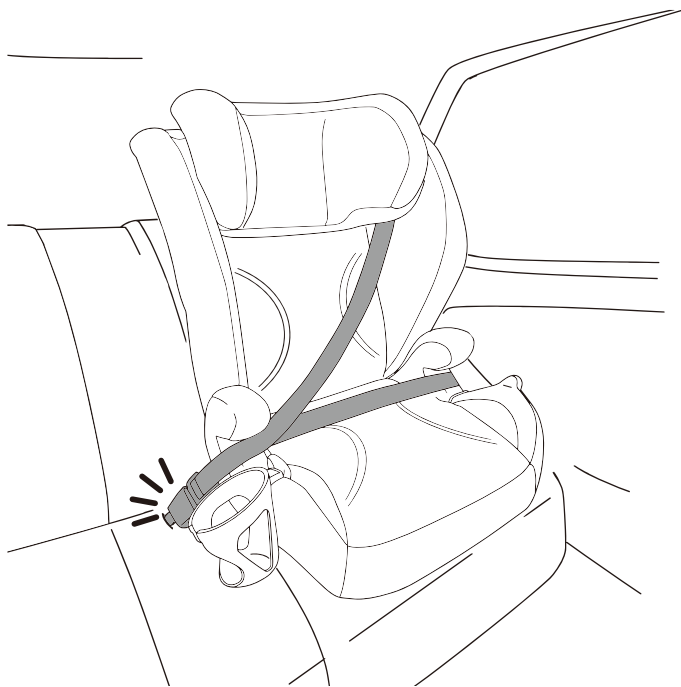
警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。



危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

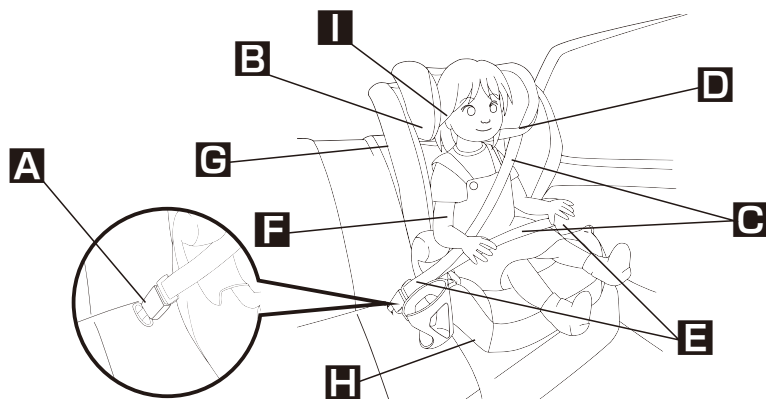


注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。
※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

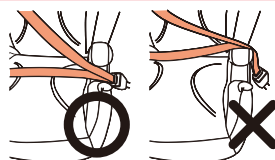
- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** チャイルドシートのヘッドレストが、適切な位置に調節されていること。
- ☐ **C** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **D** 肩ベルトが、肩ベルトガイドを確実に通り、お子さまの肩にかかっていること。
※お子さまの肩と同じもしくはやや高い位置で肩ベルトガイドを通っていること。
- ☐ **E** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の低い位置を通っていること。
- ☐ **F** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう、座席に深く座っていること。
- ☐ **G** チャイルドシートの背もたれが、車両の背もたれに接していること。
- ☐ **H** チャイルドシートの座面が、車両の座面に接していること。
- ☐ **I** お子さまの耳の上端が、チャイルドシートの上端よりも下になっていること。

⚠ 警告

- お子さまの首に車両シートベルトがかかっていることを、必ず確認してください。
- お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう注意してください。

⚠ 注意

車両シートベルト(肩ベルト、腰ベルト)がアームレストの下を通っていることを確認してください。



背もたれの取外し方法(ジュニアシート→ブースタークッション切替)



動画で解説
ブースター
クッションモード
への切替え

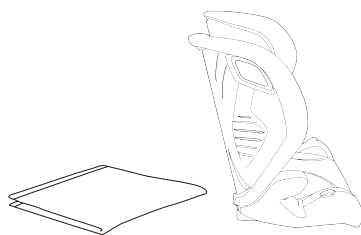
注意

- お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行ってください。

取外し前の準備

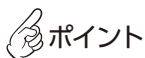
背もたれを倒す際は、勢いよく倒れます。

作業前に、床や背もたれが接する面にクッションや厚手のタオルなどを置いてから作業を行ってください。



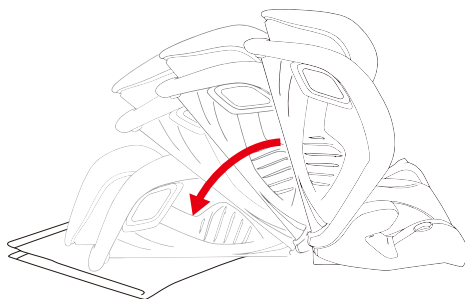
背もたれの取外し方法

①ブースターシートを押さえながら背もたれを後ろに倒してください。

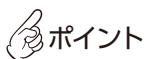


ポイント

背もたれとブースターシートの取付けは固い仕様です。倒す際、勢いよく後ろに倒さないよう注意してください。

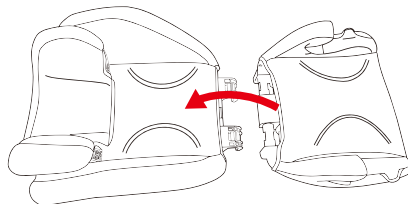


②背もたれとブースターシートのジョイント部を取外してください。



ポイント

取外しは背もたれを持ち上げるとスムーズに取外せます。



危険

背もたれは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

ブースタークッションモードの使用方法(身長135cm以上)



▶ 動画で解説
ブースター
クッションモード



警告

身長 135cm 未満のお子さまは必ずジュニアシートモードで使用してください。

使用条件

お子さまの身長が 135cm 以上であること。

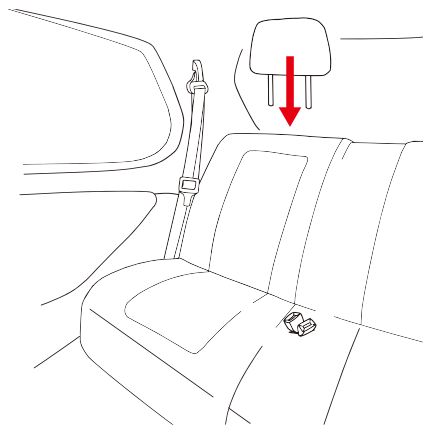


警告

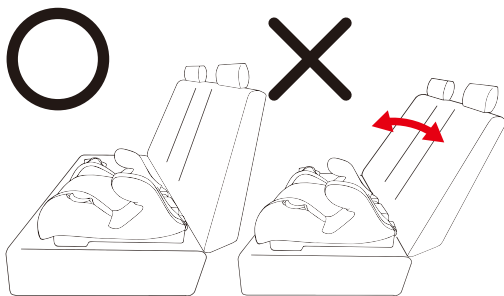
- 取付けの際はチャイルドシートが固定されていませんのでお子さまを乗せて、シートベルト拘束の全てが完了するまでお子さまから目を離さないでください。
- 取外した背もたれは、車内に放置しないでください。
また、お子さまが座っていない場合でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ず3点式シートベルトの座席でご使用ください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

車両への取付方法

① 車両のヘッドレストを取外している場合はヘッドレストを取付けてください。



② 車両側の座席背もたれがリクライニング可能な場合は、極端に倒した状態で使用できませんので座席のリクライニングを起こしてください。

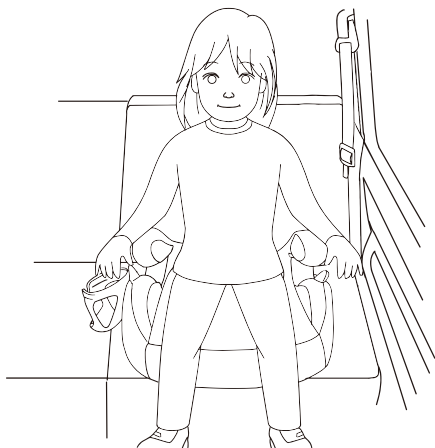


注意

車両側の座席背もたれがリクライニング出来る場合は、起こした状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、衝突時などにお子さまの体が車両のシートベルトからすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり大変危険です。

お子さまの乗せかた

①お子さまを深く座らせてください。

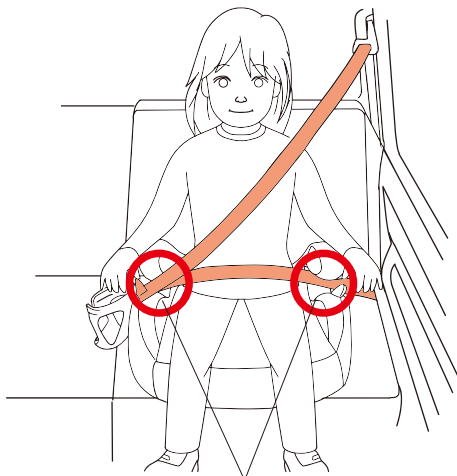


⚠ 警告

お子さまの耳の上端が、車両の背もたれの上端もしくはヘッドレストの上端より上になる場合は使用できません。

②車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通して車両バックルに差し込んでください。

※お子さまの骨盤の低い位置を通して、車両シートベルト(腰ベルト)を調節してください。



腰ベルトガイド

③車両シートベルト(肩ベルト)が正しい位置になるよう調節してください。

⚠ 警告

車両シートベルトの位置が「内側過ぎる」「外側過ぎる」箇所でご使用されると衝撃を受けた際に、お子さまの首を圧迫したりお子さまが車両シートベルトから飛び出し重大な事故につながるおそれがあります。



× 内側過ぎる ○ 正しい位置 × 外側過ぎる

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 警告

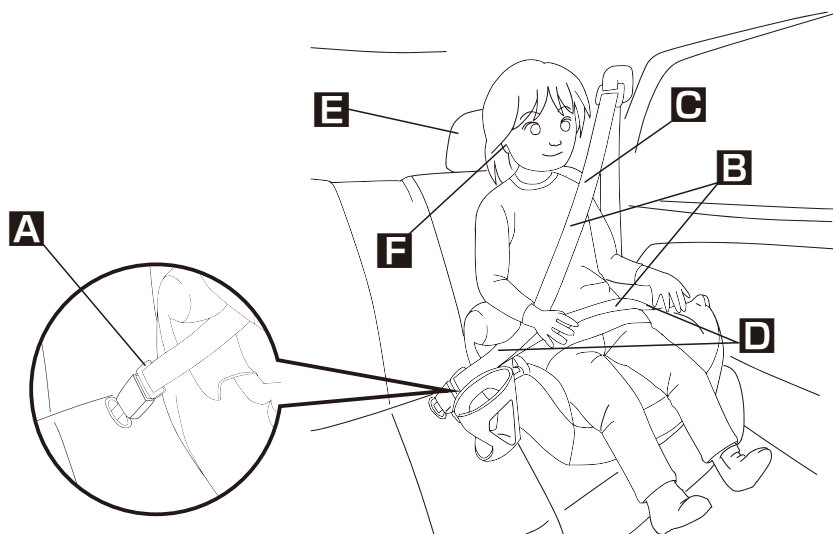
本製品を安全にご使用頂くために、お子さまを乗せる前・乗せた後は都度チェックリストを確認して使用してください。

⚠ 注意

お子さまが自分で本製品に乗り降りできるようになっても、保護者の方など大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

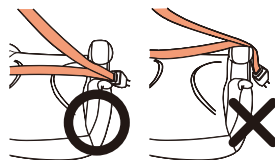
- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの肩にかかっていること。
- ☐ **D** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の低い位置を通っていること。
- ☐ **E** 車両のヘッドレストを取付けていること。
- ☐ **F** お子さまの耳の上端が、車両の背もたれの上端もしくは、ヘッドレストの上端よりも下になっていること。

⚠ 警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。

⚠ 注意

車両シートベルト(肩ベルト、腰ベルト)がアームレストの下を通っていることを確認してください。



背もたれの取付け方法(ブースタークッション→ジュニアシート切替)



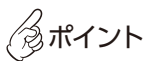
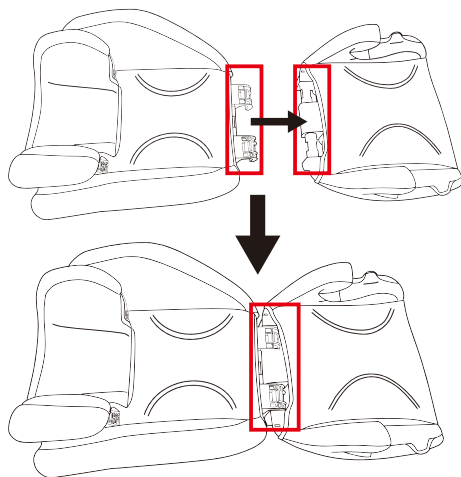
動画で解説
ジュニアシート
モードへの切替え

注意

- お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行ってください。

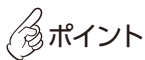
背もたれの取付け方法

①背もたれのジョイント部分を、ブースターシート部分にあわせて上からしっかりとめ込みます。

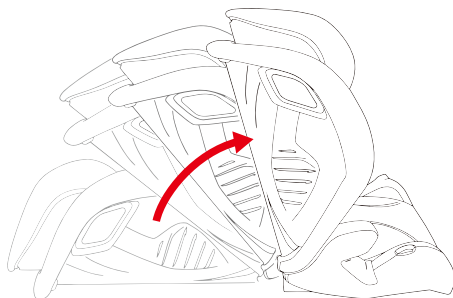


ポイント カバーがはさまらないよう注意してください。

②固定されるまで背もたれを起こしてください。



ポイント 背もたれが起こしにくい場合は、カバーがはさまっていないか確認してください。



警告

背もたれとブースターシートのジョイント部分にカバーがはさまっていると背もたれが突然外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートカバーの取外し方法

カバーの取外し前の準備

カップホルダーは取外してください。

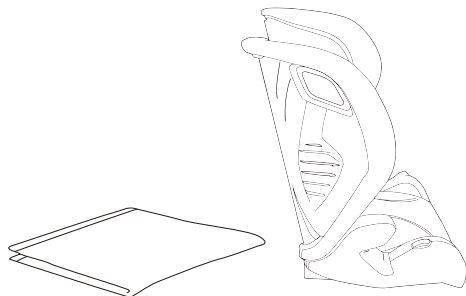


注意

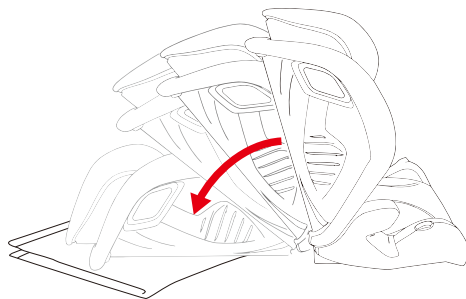
- お子さまがはさまれて、けがをするおそれがあります。
※作業中はお子さまを近づけないようにしてください。
また、車内では作業を行わず、室内の安全な場所でお子さまを近づけず作業を行ってください。

背もたれを倒す際は、勢いよく倒れます。

作業前に、床や背もたれが接する面にクッションや厚手のタオルなどを置いてから作業を行ってください。



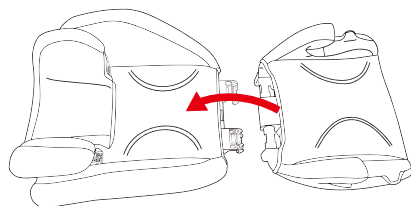
①ブースターシートを押さえながら背もたれを後ろに倒してください。



ポイント

背もたれとブースターシートの取付けは固い仕様です。倒す際、勢いよく後ろに倒さないよう注意してください。

②背もたれとブースターシートのジョイント部を取外してください。



ポイント

取外しは背もたれを持ち上げるとスムーズに取外せます。

ヘッドレスト・背もたれカバーの取外し方法



動画で解説

ヘッドレスト・
背もたれカバーの
取外し方法

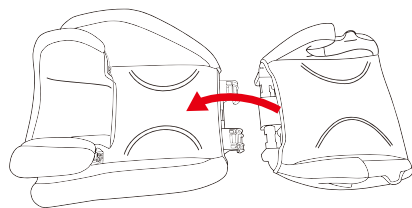
⚠ 注意

作業中に本体が倒れる可能性がありますので周囲に注意しながら作業してください。

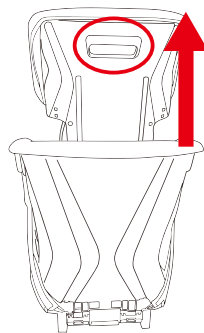
⚠ 注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないようにしてください。
カバーが破れる可能性があります。

①背もたれとブースターシートを取外してください
(P.20 参照)。



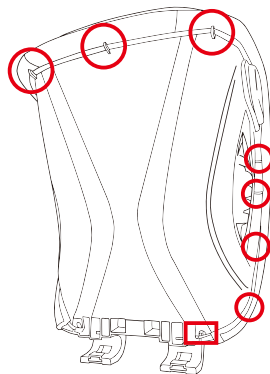
②ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げて
ください。



⚠ 注意

ヘッドレストを調節する際は手や指などを
はさまないように注意してください。

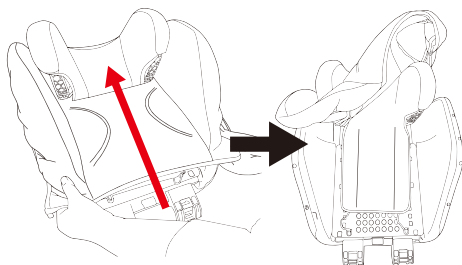
③背もたれ背面のツメ(○部分)からカバーを外し、
下部(□部分)からゴムひもを外してください。



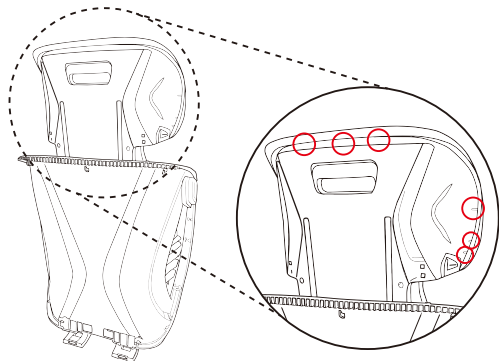
⚠ 注意

ゴムひもが切れないよう無理に引っ張らない
でください。

④背もたれカバーを上方向にめくりその間からヘッドレストを通して(片側ずつ)カバーを取外してください。



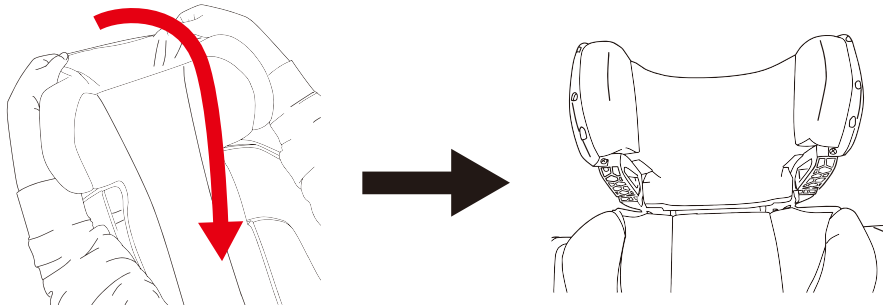
⑤ヘッドレスト背面のツメ(○部分)からカバーを外してください。



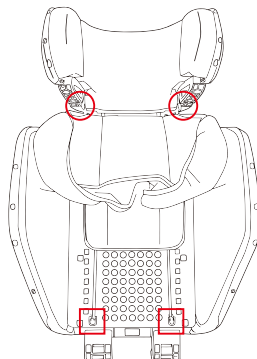
⚠注意

カバーを取外す際、本体の樹脂部分で手や指などをけがしないよう注意してください。

⑥ヘッドレスト背面のカバーを持ち上げ、片側ずつヘッドレストのカバーを外し図の状態にしてください。



⑦肩ベルトガイドのツメ(○部分)と背もたれ下部のツメ(□部分)からヘッドレストカバーのゴムひもを外し、カバーを取外してください。



⚠注意

ゴムひもが切れないよう無理に引っ張らないでください。

ブースターシートカバーの取外し方法



動画で解説
ブースターシート
カバーの取外し方法

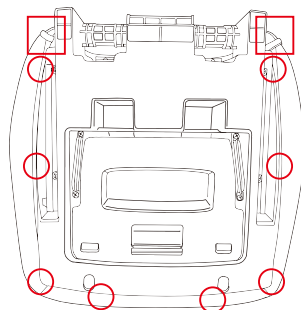
⚠ 注意

カバーを取外す際、本体の樹脂部分で手や指などをけがしないよう注意してください。

⚠ 注意

カバーを取外す際、無理に引っ張らないようにしてください。
カバーが破れる可能性があります。

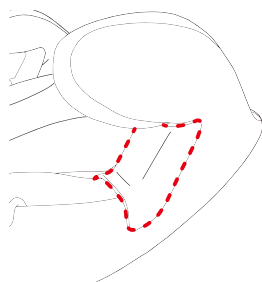
①ブースターシート裏面のツメ（○部分）からカバーを外し、後方のツメ（□部分）からゴムひもを外してください。



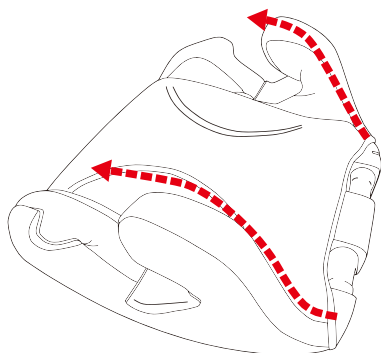
⚠ 注意

ゴムひもが切れないよう無理に引っ張らないでください。

②腰ベルトガイドのまわりからカバーの端をゆっくり取外してください。



③カバーをブースターシート後方から手前にめくり上げて取外してください。



⚠ 注意

カバー下のクッションは取外せません。
無理に引っ張ると破れるおそれがあるため
絶対に引っ張らないでください。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



動画で解説
シートカバーの
取付け方法



注意

手や指をけがしないよう注意してください。

お手入れ



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
シートカバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

シートカバーの洗濯方法

ぬるま湯と中性洗剤を使用し、必ず手洗いしてください。
手洗い後は、乾いた布で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や布などを傷めるおそれがあり大変危険です。

本体のお手入れ方法

固くしぼった布で水ぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。



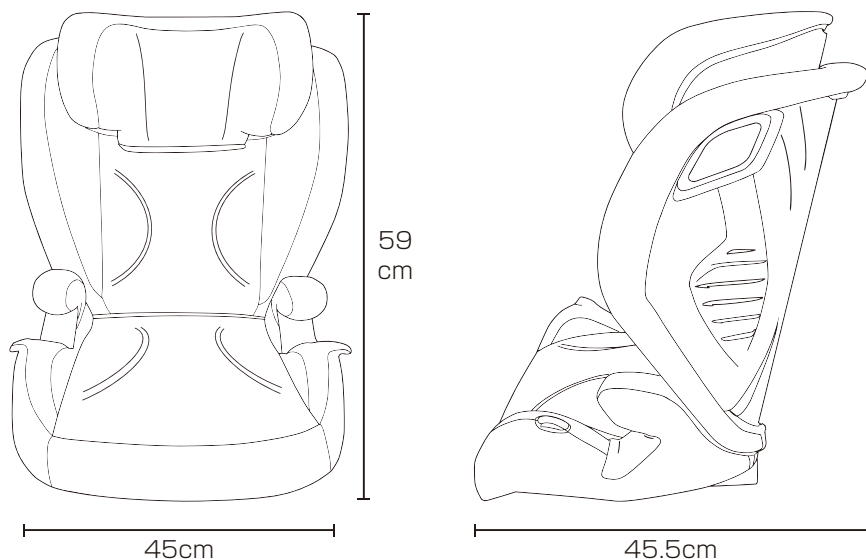
注意

発泡ウレタン部分は、強い力で拭くと、破れたり破損するおそれがあります。
優しく拭き、しっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

幅：約 45cm
奥行き：約 45.5cm
高さ：約 59cm



材質

本体：PP(ポリプロピレン)／EPS(ポリスチレン)
カバー生地：PE(ポリエステル)
サイドインパクト：PP(ポリプロピレン)
カップホルダー：PP(ポリプロピレン)

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。
- ・付属のカップホルダーも一緒に保管してください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、廃棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。

Neb:o

輸入販売元 株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

メール info@nebio-online.jp

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

(祝祭日を除く 月~金曜日)